

血液がん より良い治療とより良い治療



日時：2010年7月31日(土) 会場：千代田ファーストビル西館

共催：(財)骨髄移植推進財団、NPO法人白血病研究基金を育てる会、
NPO法人日本臨床研究支援ユニット(J-CRSU)、がん電話情報センター

参加費 1人1,000円
※参加の事前申し込みは要りません

座長 中通総合病院 小児科 **渡辺新** 先生 **総合司会** NPO法人血液情報広場・つばさ **橋本明子**

1 血液と血液がん

疾病の基本概念と血液がん治療の現状 国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植グループ **森 慎一郎** 先生
血液細胞の働き、血液がんはそれぞれ造血のどの過程でがん化するのか、等の造血と疾患の基本学習を通して「同じ血液がんにも、様々な病気がある」ことと、自分の疾患を理解します。
さらに、標準治療の「標準」の意味を把握します。とても気になる言葉「治験」とは、「最前線の治療」という意味でしょうか？いま治療中の患者にとっての標準治療と治験との関係は、どう考えればよいのでしょうか。

2 血液がんの治療

1) 薬物療法の基本理解 東京慈恵会医科大学附属第三病院 腫瘍・血液内科 **薄井 紀子** 先生
がん治療という抗がん剤治療 (total cell kill) によって生じる強い副作用 (嘔吐や脱毛) をイメージします。たしかに血液がんでは、疾患によって診断直後に化学療法が必須となります。

2) 分子標的薬の基本理解 慶應義塾大学病院 血液内科 **岡本 真一郎** 先生
分子標的療法は血液がん治療のfinal answerでしょうか？これによって血液がんはどこまで治るようになったのか、現状と今後の展望についてお聴きします。

3) 移植療法の基本理解 がん・感染症センター都立駒込病院 血液内科 **秋山 秀樹** 先生
同種移植 (きょうだい等親族ドナー、骨髄バンクやさい帯血バンクからの非血縁ドナー) をもとに移植療法を理解し、またフル移植とミニ移植の違いを把握し、「移植適応」のタイミングについて考えます。

3 暮らしと血液がん治療の副作用 **座長** 国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞病棟 師長 **荒木 光子** さん

1) 血液病棟のナースから：清潔ケアについて 国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞病棟 看護師 **深堀 あゆみ** さん
免疫力が大きく落ち込む時期があるのが血液がん治療。感染症などの重篤な合併症をより少なくして、快適な闘病生活をおくるため、手洗い、口腔ケアなどの予防や清潔のたいせつさを繰り返し認識しましょう。

2) 外来化学療法室のナースから：外来化学療法の実際と看護 国立がん研究センター中央病院 通院治療センター 看護師 **富樫 裕子** さん
外来化学療法室で行なわれている化学療法の実際と、治療中 (自宅で問題が起きた場合も含めて) のトラブル対処法や心の持ち方、また外来で看護師さん達にどう相談したらよいか、アドバイスをお聴きします。

3) 治療とうつ ～心療内科の上手な受け方 大阪大学医学部附属病院 オンコロジーセンター・緩和医療部門/精神医学教室 **谷向 仁** 先生
より良いがん治療とより良い闘病生活のために、がん治療とこころについて考えましょう。
～がん治療によってうつは増える？ うつが疑われた場合、最初にすることは何か。

4 日本骨髄バンクの新しい対応

非血縁者間末梢血幹細胞移植の開始について 財団法人骨髄移植推進財団 移植調整部長 **小瀧 美加** さん

疾患別分科会 16時～17時

◎急性白血病 東京慈恵会医科大学附属第三病院 **薄井 紀子** 先生
司会 佐藤 恒 さん (J-CRSU)

◎慢性骨髄性白血病 慶應義塾大学病院 **岡本 真一郎** 先生
司会 田村 英人 さん (いずみの会)

◎骨髄異形成症候群 日本医科大学付属病院 **緒方 清行** 先生
司会 八木沼 順一 さん (MDS連絡会) / 山口 鋭一郎 さん (MDS連絡会)

◎悪性リンパ腫 虎の門病院 **伊豆津 宏二** 先生
司会 松原 良昌 さん (血液情報広場・つばさ)

◎多発性骨髄腫 順天堂大学医学部付属順天堂医院 **佐々木 純** 先生
司会 中雄 大輔 さん (骨髄腫患者の会)

◎こころ 大阪大学医学部附属病院 精神医学教室 **谷向 仁** 先生

◎小児血液腫瘍 中通総合病院小児科 **渡辺 新** 先生
慶應義塾大学病院小児科 **嶋田 博之** 先生
司会 井上 富美子 さん (千葉葉の花会)

病気と治療、学校関係者との連絡や説明のコツ、お友達との付き合い方、親子関係のこと…、何でも相談、話し合ってみましょう。

懇親会 18時～ **音楽とワインを楽しむ夕べ** (参加費) 2,000円～3,000円

賛助企業 ヤンセンファーマ株式会社、ノバルティスファーマ株式会社、プリストル・マイヤーズ株式会社、協和発酵キリン株式会社、日本新薬株式会社、セルジーン株式会社、バイエル薬品株式会社、富士フィルムRIファーマ株式会社

血液がん治療に関する個別相談会 (全体会進行中、別室で)、あります。 **要・事前申込み** 担当はJ-CRSU・がん電話情報センター **詳細は裏面に**

問い合わせ/NPO法人血液情報広場・つばさ 03-3207-8503 (月～金 12時～17時)

会場案内図／千代田ファーストビル西館

住所：東京都千代田区西神田3-5-3



個別相談 申し込み方法

※フォーラムのみへの参加申込は不要です

A4以下の紙1枚につきのことを書いて、

7月28日(水)までにFAXで03-5842-3438にお送りください。

- ①お名前(相談に来る人)
- ②病名
- ③患者さんの年齢
- ④連絡先のお電話番号・FAX
- ⑤**現在受診中の病院名**(7月31日の対応医師を決める際の情報とします。もし、フォーラム講師のなかに、現在の主治医がいるかどうかかわかっておられましたら「〇〇先生が主治医」と明記してください)

※ 但し、相談対応医師の指名はできません(講演時間との兼ね合い等の諸事情のため)。

※ お申込み、お話(ご相談)内容等の秘密は厳守されます。ご安心ください。

※ このFAXには、ご相談内容は書かないでください。

※ なお、いただいた情報は、個別相談の運営以外には使用しません。

相談時間は一組15分程度です。別室を設け、主に講師でおいでいただく血液専門医にご相談を受けていただきます(がん電話情報センター相談員が立ち会います)。

なるべくご希望に添うよう調整いたしますが、お申込多数の場合にはお受けできないことがありますのでご了承ください。相談受付の可否は追ってご連絡します(お申し込み直後、というわけではありませんので、ご了承ください)。なお、分科会でも匿名の質問票を用いて講師の先生に回答いただく時間がありますので、そちらもご利用ください。

お問い合わせ先

がん電話情報センター(NPO日本臨床研究支援ユニット内) 個別相談会受付係：03-5684-2357